

けいせん

議会だより

Vol.13

議員視察研修報告

ペーパーレス化の取り組み

鳥取県 日南町

10月18日、日南町を視察しました。

日南町では、タブレットを導入し、議会資料等のペーパーレス化を図ることにより、経費・労務の削減を行っている。しかし予算書については、紙も併用していました。他に議会改革の推進・農林研修制度、それに保育所無償化（H28年度より完全無償化）などについて視察研修しました。

日南町の人口は約5千人（桂川町約1万4千人）、面積340km²（桂川町の17倍）で、一般会計63億円（桂川町53億円）です。9割を森林が占める町ですが、色々な取り組みをしている中で、交付金の受け方が非常にたけているという印象をもちました。



日南町

橋上駅化の取り組み

ありだがわ
和歌山県有田川町の藤並駅

10月19日、藤並駅を視察しました。

有田川町では、通勤・通学及び町の活性化を図るために特急を止めたいという思いから、西口だけだった改札口を東側にも設置し、橋上駅化を実現しました。それにより乗降客も右肩上がりで増え、駅東側の開発も進みました。

橋上駅化にはJRとの協議に2年

間、駅改築に2年を要しています。財源については、駅部分はJRの財源で、2階の自由通路や美術館（図書館）は、町の財源です。その内訳は、町づくり交付金3億8千万円、合併特例債8億6千万円、一般財源4千5百万円です。あらゆる手法を駆使したと、自負していました。

今まさに、桂川町が取り組もうとしている「ペーパーレス化」と「橋上駅」。非常にタイムリーで有益な視察でした。このことを、今後の行政に反映させていきたいと思います。

林 英明



藤並駅



藤並駅構内

平成二十七年 度

決算6会計を認定

平成二十八年第3回定例会に上程されました一般会計・特別会計（住宅新築資金等貸付事業・土地取得・国民健康保険・後期高齢者医療）・水道事業会計の6会計の決算の認定について、一般会計・特別会計決算審査特別委員会、水道事業会計決算審査特別委員会を設置し、審査を付託しました。

28日の本会議では、決算審査報告書を付け、委員長報告のとおり認定することに決定しました。

一般会計・特別会計決算審査結果報告(概要)

決算審査特別委員会

委員長	竹本	慶吉
副委員長	藤川	正恭
委員	下川	康弘
委員	北原	裕丈
委員	吉川	紀代子
委員	大塚	和佳

9月13日・14日・16日の3日間、一般会計・特別会計の平成27年度決算について審査を行いました。平成

27年度普通会計の実質収支は、約1億8千万円の黒字です。実質単年度収支は、ここ数年黒字傾向にあり、財政運営は、安定した状況にあると言えます。

経常収支比率は、94.4%と、前年度からわずかに改善しています。

実質赤字比率、連結赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の4指標については、特に問題ありません。

歳入

本町の財源では、地方交付税が占める割合が最も大きく、国の地方交付税をはじめとする財政再配分制度に大きく依存しています。滞納問題は、担当部署の努力で徴収率が向上しています。不能欠損については、法令等に則り適正に処理されていると認めます。

歳出

今後も歳入・歳出の両面から創意工夫を図りながら経費の縮減に努め、経常収支比率軽減に努力してくだ

さい。各種団体への補助金・助成金は、

公費支出の必要性や助成対象の妥当性などの点検を、今後も継続して

ください。

●住宅新築資金等貸付事業特別会計では、多額の滞納繰越金が発生しています。十分な業務整理に努めて

ください。

●国民健康保険特別会計は、本年度も赤字決算となりましたが、当特別会計は特殊な事情もあり、高額医療費を抑制するための予防と特定健診等を指導すべきです。

水道事業会計決算審査結果報告(概要)

水道事業会計決算審査結果報告(概要)

決算審査特別委員会

委員長	青柳	久善
副委員長	北原	裕丈
委員	竹本	慶吉
委員	吉川	紀代子

9月20日・21日の2日間、平成27年度水道事業会計決算について審査を行いました。

平成27年度年間総配水量は、約145万m³で、昨年より約8千m³減少しています。また、有収水量も約134万7千m³で前年度より約2万4千m³減少しており、その要因としては、一般家庭の省エネ・節水意識

の高揚と給水人口の減少によるものと考えられます。水道事業における総収益は約2億1千万円で、これに対する総費用は約1億8千万円となり、27年度の純利益は約3千万円となっており、水道事業として引き続き良好な経営状況が保たれています。

【未収金解消の取り組みについて】

水道料金等の収納状況は、過去10年間で最も良好な成績を示した26年度の数値をさらに上回る収納率を達成しています。これまでの取り組みの成果として評価できます。

【その他】

施設の老朽化が進行しており、抜本的改善という大きな転機を迎えている今日の状況の中で、水道事業の運営においては、人的資源の総力を結集した取り組みを期待するものです。

【むすび】

水は生命の源であり、私たちの生活に欠かすことのできないものです。日常的には「安心、安全かつおいしい水」の提供に努めていただくとともに、長期的な水の安定供給という観点から、今後とも、適切な判断のもと、必要十分な対策が講じられることを希望します。

一般質問



大塚和佳議員

情報公開について

問 昨年12月、「本会議中のインターネット動画
中継及び録画」について質問をした。経費面等も
あるので、議会と一緒に検討していくとの回答だっ
たが。

答(井上町長) 中継の経費負担は多額になるが、
録画配信であれば安価で対応できる。実現に向け
議会と協議を行いたい。

学校教育について

問 スクールソーシャルワーカーは、現在、週に2
日間配置されているが、常勤での採用はできない
のか。

答(瓜生教育長) 児童生徒の不登校等の状況
や、様々な諸問題を抱える家庭環境の状況等の実
態を踏まえ、検討していく。

答(町長) 教育委員会、教育長と協議を進めてい
く。

問 学校のタブレット化とプログラミング研修は
できないのか。

答(教育長) タブレット化は国の指針に沿って検

9月定例会で次の議員が一般質問しました。

議員が町の行財政全般について執行部に説明を問うものです。
紙面の都合により、一般質問の内容を要約して記載しています。

討していく。また、プログラミング研修は、次期学
習指導要領の改訂に向けた議論の動向を見なが
ら、研修の在り方について検討していく。

答(町長) 教育委員会や学校から要望があれば
検討していく。

問 昨年12月議会で質問があった「小・中学校ト
イレ改修」のその後は。

答(教育長) 年次的な改善計画を立て、効果的
な対策方法および財源対策を検討し、優先順位を
定めたうえで順次対応していく必要があると認識
している。

答(町長) 全体的な改善計画をお願いしている。
学校現場と協議していくべきである。

子育て支援センター「ひまわりのたね」 について

問 利用状況は、月300名以上が利用している
と聞いているが、行ったことはあるのか。冬に向け
て施設改修の計画はあるのか。また、常勤1名、非
常勤1名(月11日・1日4時間)で十分な対応がで
きるのか。

答(町長) 現場には行ったが、保護者とは話して
いない。また、施設整備は、開設してまだ1年足ら
ずであり、当面は現状を維持しながら既存の施設
を有効利用し、活動内容の充実を図っていきたい。

水道事業施設改修計画について

問 平成27年度に桂川町浄水施設改修基本計画
は出来ているのか。出来ていれば内容及び実施予
定や経費は。

答(町長) 報告書では、土師浄水場及び配水池
を全面的に改修、または移設した場合の費用とし
て約23億円が見込まれている。老朽化が進む水道
事業施設の改修、及び自然災害等への対策は大き
な課題であり、具体的な実施計画については、更な
る調査・検討・協議が必要だと考えている。

問 配水池の改修計画について

答(町長) 土師の配水池には、1号施設と2号施
設があるが、両施設とも今後の計画の中で、移転
あるいは改修を検討していく必要がある。全体と
して、水道事業は一体化したものであり、期間をあ
けて取り組むことは無駄が生じ、困難なため、今
後、大きな決断が必要になると認識してい
る。



吉川紀代子議員

福祉バス路線の新設と運行改善 について

問 2014年12月議会で、福祉バスの済生会病
院への乗り入れ交通確保についての話し合いを近
隣の市と検討するように要求したが、その後どの
ように検討したのか。

答（井上町長） 桂川町として済生会病院への運行延長実現に向けて、今後関係機関及び済生会病院と協議を進める。

問 現在ある福祉バスを利用して済生会病院に行く場合、4月から桂川町に乗り入れている飯塚市バスを利用する方法もあるが、本町の福祉バスのダイヤと飯塚市バスのダイヤが合わないの、ダイヤ改正なども考えるべきではないか。

答（町長） 現行福祉バス路線Bコース佐藤鉄工所前のバス停から、済生会病院までの路線延長のみで対応ができると考える。

問 済生会病院と話し合う場を設け、密なる協力関係の構築を図るべきではないか。

答（町長） 一度協議したことはあるが、改めて協議したいと考えている。

生活保護世帯への補給金の支給について

問 生活保護世帯へ10年間支給の越年・越盆手当はとも助かってきたのに、なぜ打ち切ったのか説明を求める。

答（町長） 法律に基づいて施策が講じられていると認識している。

問 桂川町の生活保護基準はいつなっているか。飯塚市や嘉麻市の級地を示してほしい。

答（町長） 国の定める基準に沿って認定及び支給が行われている。全国では1級地の1から3級地の2まで、6つの級地が設定されている。飯塚市は2級地の2、嘉麻市は3級地の1、桂川町は3級地の2となっている。

問 政府が社会的弱者に対し切り捨てを行っている。桂川町として独自の生活補給金制度を創設し救済すべきではないか。

答（町長） 桂川町独自の上乗せ加算は考えていない。



杉村 明彦 議員

子ども会について

問 地域敬老会助成金の例のように子ども会にも支給を願いたい。

答（井上町長） 本町では、子ども会指導者連絡協議会が地域子ども会の指導及び子ども会参加事業等を実施し、町全体・地域全体で子どもたちの成長を見守る活動に取り組んでいた。活動費・運営費も出している。今後、指導者の方を交えて、子ども会のあり方について協議していく必要があると思う。なお、各行政区の状況も時代と共に変化し、行政区間の違いも大きなものがある。現時点では子ども一人ひとりを基準に補助金を出すのは難しいと考える。

動物愛護について

問 昨年12月議会でも質問したが、平成27年度の犬猫の捕獲・保護状況を問う。

答（平井保険環境課長） 平成27年度に、桂川町内で、保健所により犬を捕獲保護した件数は12頭で、うち6頭は飼い主が判明したため、飼い主へ返還されている。猫の引き取り頭数は18頭だ。

問 猫も捕獲するのか。

答（保険環境課長） 猫は持ち込まれるのがほとんどだ。

問 マナーの悪い飼い主へマナー改善・犬猫の殺処分分の現状を伝える啓発を行っていただきたい。

答（町長） 犬の散歩時の汚物の処理などについては、一部の飼い主による不適切な処理が見受けられ、担当課にも苦情が寄せられている状況だ。苦情があった場所には、立て看板を設置するなどの対応をしている。飼い主に対するマナーの周知については、広報に掲載したり、チラシを各行政区に配布するなど啓発してきた。そのなかで、「散歩のときは必ずリードをつける」、「フンは、必ず持ち帰る」などの周知を行っている。

また、殺処分の現状については、広報いせん犬猫の特集を企画し、古賀市にある県の動物愛護センター等の取材を行うなど準備を進めている。少し時間はかかるが、10月号の広報で特集するので、ご一読いただきたい。



下川 康弘 議員

子育て支援について

問 待機児童の現状は

答（秦 子育て支援課長） 昨年と比較すると減少傾向にある。昨年同時期11名に対し、今年は3名である。主な理由は保育士不足で、法律により保育士1人当たりの児童数が、0歳児なら3人、1歳以上3歳未満なら6人、3歳児なら20人、4歳児以上は30人

と定められている。本町では、昨年より0歳児から2歳児が増えたので、保育士が不足している。

問 待機児童問題への対策は

答(井上町長) 昨年、吉隈保育所の保育室拡張工事を実施し、施設面は整っているものの保育士が足りない状況にある。この為、保育士確保に向けて今年度7月より、臨時保育士の処遇改善や短時間勤務を導入し、募集を行っている。

地方創生総合戦略について

問 今回、設立を目指している「地域商社」の取り組みとは

答(森山副町長) 地域商社の取り組みについては、行政だけでなく官民が協働して、町の将来を見据えた、新たな組織・グループを立ち上げ、総合戦略に掲げた様々な課題の解決に取り組んで行くというものである。

問 6次産業化の取り組みについて、商工会や農業関係者と話をしたことがあるか。

答(山本産業振興課長) まだ、地域商社を中心に据えた取り組みを検討している段階なので、商工会には打診を行っていないが、新規就農者の一部の方には取り組みについて打診を行った。

問 特産品開発とふるさと納税について

答(山邊企画財政課長) 私の考える農業6次化とは、生産から加工・販売・流通までを町内で一貫して行える仕組みを構築し、桂川町の特産品の開発、産業の活性化、ふるさと納税返礼品にも寄与できればと考えている。

問 定住促進につながる魅力ある教育環境づくり

で、商工会青年部が取り組んでいる事業についてどう思うか。

答(瓜生教育長) 町商工会青年部が取り組んでいる地域活性化推進事業は、教育面においてのブランド力向上につながると認識している。今後とも「命の授業」など、子どもや保護者にとって教育的に有益な活動については、青年部と連携・協力していきたい。



藤川 正恭 議員

桂川幼稚園運営審議会答申について

問 答申を受けての進捗状況は。

答(瓜生教育長) 充分に取り込んでこなかった部分もあることは否めない。

問 幼稚園と保育所の勤務内容の比較は。

答(教育長) 幼稚園の勤務内容については役場職員と同じ勤務となっている。保育所の勤務内容については、交代制となっている。

問 人事交流について。

答(井上町長) むやみな人事交流は考えていない。

桂川町の将来像について

問 桂川町5カ年計画の4つの基本目標について具体的な取組はどう考えているのか。

答(町長) 地方創生の交付金を活かし、総合戦略を基本に積極的に取り組んでいく。

問 68歳前後の団塊世代の人達は、10歳前後の人達の3倍以上いるが、10年後の桂川町の姿として、今後入ってくる税収が減り、医療・福祉が増大する事についてどのように考えているか。

答(町長) そのようにならない為に、駅周辺整備によるイメージアップ。産業の取り組みでは農業の6次化や組織の充実。教育部門では特色ある教育施策の構築。町のシンボル王塚古墳をPRし、文化の香り豊かな町づくりを実践していく。

問 子どもの貧困について実態を調査し、内容に従って解決を目指すべきと思うが。

答(町長) 実態調査はしていない。今後、関係各課と連携を図りながら適切に対応していきたい。

問 不登校問題について教育委員会として把握しているのか。

答(教育長) 不登校については把握しているが、ひきこもりについては把握はしていない。不登校・ひきこもりにつながらない為に未然防止、早期発見等で継続的な支援を行っている。

問 ひきこもり等の実態調査及び啓発活動等を実施し解決を図ることが、総合戦略の中身にも合致するのではないか。

答(町長) ひきこもりは社会問題であり、若年層から高齢者まで誰もが陥る可能性のある心の問題だ。今後身近な人達による対応の必要性を考えながら研究していきたい。



9月定例会で審議された結果



【議 案】	件 名	付託委員会審査結果	審議結果
承 認 第 11 号	桂川町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	—	【承認】 全員賛成
議 案 第 26 号	平成28年度桂川駅南地区防災調整池護岸設置工事(1工区)請負契約の締結	—	【可決】 全員賛成
議 案 第 27 号	桂川町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	文教厚生委員会	【可決】 全員賛成
議 案 第 28 号	平成28年度桂川町一般会計補正予算(第2号)	総務経済建設委員会 文教厚生委員会	【可決】 全員賛成
議 案 第 29 号	平成28年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	総務経済建設委員会	【可決】 全員賛成
議 案 第 30 号	平成28年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	文教厚生委員会	【可決】 賛成多数
議 案 第 31 号	平成28年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	文教厚生委員会	【可決】 全員賛成
議 案 第 32 号	平成28年度桂川町水道事業会計補正予算(第1号)	総務経済建設委員会	【可決】 全員賛成
認 定 第 1 号	平成27年度桂川町一般会計歳入歳出決算の認定	一般会計・特別会計 決算審査特別委員会 (審査結果報告書提出)	【認定】 賛成多数
認 定 第 2 号	平成27年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定		【認定】 全員賛成
認 定 第 3 号	平成27年度桂川町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定		【認定】 全員賛成
認 定 第 4 号	平成27年度桂川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定		【認定】 賛成多数
認 定 第 5 号	平成27年度桂川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定		【認定】 全員賛成
認 定 第 6 号	平成27年度桂川町水道事業会計決算の認定	水道事業会計決算審査 特別委員会 (審査結果報告書提出)	【承認】 全員賛成
報 告 第 4 号	健全化判断比率の報告	—	【報告】
報 告 第 5 号	資金不足比率の報告	—	【報告】

つぶやき

この夏「還暦同窓会」を行いました。

私が6年生の時、桂川小学校創立50周年を迎え「伸びる像」の除幕式がありました。今年は創立100周年。半世紀も経過したことが不思議です。

中学校に在籍していた昭和43〜46年は、2つの炭鉱が閉山し、多くの生徒が町を離れた時期でした。

中2で転校した友人の言葉です。「友達との別れは辛かったし、成人すると桂川町の様子が気になりました。生まれ育った場所や友は人間形成の基盤であり、心に大きな穴が開いた状態だったからです。同窓会はそんな思いを埋めてくれました。」

長い歳月で切れかかったネットワークが繋がり、今後の時間を過ごす糧を与えてくれる「還暦同窓会」でした。

大塚 和佳